



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 大同工業株式会社

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 真田 昌則

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,656	3.2	1,047	△13.2	1,205	△19.7	782	△9.4
26年3月期第2四半期	20,977	12.2	1,207	656.8	1,501	—	863	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,214百万円 (△43.6%) 26年3月期第2四半期 2,155百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	16.62	—
26年3月期第2四半期	18.35	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	54,706	23,372	34.4	399.44
26年3月期	54,601	22,711	33.3	386.50

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,801百万円 26年3月期 18,192百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,100	2.8	2,100	△13.8	2,300	△22.2	1,200	△25.7	25.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	47,171,006 株	26年3月期	47,171,006 株
27年3月期2Q	101,814 株	26年3月期	101,050 株
27年3月期2Q	47,069,680 株	26年3月期2Q	47,070,585 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の回復基調が続いているものの、ウクライナや中東における政情不安、新興国経済の成長鈍化などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、消費税増税後の個人消費の落ち込みが見られるものの、政府・日銀の経済・金融政策や円安傾向を背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、国内では、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、厳しい受注状況となりましたが、アセアン、インド、欧州において、為替の円安効果もあり、二輪車用チェーンの補修市場向けの受注を中心に好調に推移いたしました。また、インドにおいて二輪車用チェーンの一貫生産、米国において四輪車用チェーンの組立生産の本格稼働を進めるなど、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,656百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は1,047百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益は1,205百万円（前年同期比19.7%減）、四半期純利益は782百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### ①日本

二輪車用チェーンについては、補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、為替の円安効果もあり、前年同期を上回りました。四輪車用チェーン等については、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。コンベヤ関連については、大型案件の受注が乏しく前年同期を下回りました。一方、産業機械用チェーン等については、国内景気の回復基調を背景に、補修向けの受注が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は12,241百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

#### ②アジア

二輪車用チェーンについては、アセアン諸国において補修市場向けを中心に受注が順調に推移するとともに、インドにおいても着実に受注が増加したことから、前年同期を上回りました。四輪車用チェーンについては、インドネシア、中国を中心に受注が好調であったことから、前年同期を上回りました。コンベヤ関連についても、タイを中心に受注が好調であったことから前年同期を上回りました。

その結果、売上高は5,771百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

#### ③北米

二輪車用チェーンについては、北米での二輪車市場の景況は依然厳しく、受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。一方、産業機械用チェーンについては、北米での緩やかな景気回復に伴い受注が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は1,248百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

#### ④南米

二輪車用チェーンについては、補修市場向けの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は1,664百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

#### ⑤欧州

二輪車用チェーンについては、補修市場向けにおいて西欧と北欧での販売活動強化の結果、受注が好調であったことから、前年同期を上回りました。また、完成車メーカー向けにおいても、欧州系メーカーからの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は731百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が1,436百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が492百万円、仕掛品が113百万円、建設仮勘定が285百万円、投資有価証券が710百万円増加したことなどにより105百万円増加し、54,706百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、繰延税金負債が201百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が634百万円、借入金が249百万円減少したことなどにより556百万円減少し、31,333百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、為替換算調整勘定が161百万円減少したものの、利益剰余金が356百万円、その他有価証券評価差額金が407百万円増加したことなどにより661百万円増加し、23,372百万円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ891百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には3,197百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は397百万円（前年同期は2,370百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権が492百万円増加（前年同期は104百万円の増加）、仕入債務が653百万円減少（前年同期は200百万円の増加）、たな卸資産が191百万円増加（前年同期は251百万円の減少）したものの、税金等調整前四半期純利益を1,257百万円（前年同期は1,500百万円）、減価償却費を1,020百万円（前年同期は1,077百万円）計上したこと等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は427百万円（前年同期は910百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,016百万円（前年同期は911百万円の支出）、定期預金の払戻による収入550百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は735百万円（前年同期は197百万円の使用）となりました。これは主に、借入の返済による支出（純減額）が233百万円（前年同期は92百万円の収入）、配当金の支払額282百万円（前年同期は138百万円の支出）等によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が221百万円増加し、利益剰余金が143百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,351	3,914
受取手形及び売掛金	9,595	10,088
商品及び製品	3,127	3,153
仕掛品	2,204	2,318
原材料及び貯蔵品	2,295	2,347
繰延税金資産	390	433
その他	796	952
貸倒引当金	△39	△22
流動資産合計	23,722	23,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,347	5,180
機械装置及び運搬具(純額)	4,495	4,575
土地	3,082	3,051
リース資産(純額)	1,805	1,572
建設仮勘定	1,011	1,297
その他(純額)	799	737
有形固定資産合計	16,542	16,414
無形固定資産		
のれん	212	175
ソフトウェア	132	133
その他	36	30
無形固定資産合計	381	339
投資その他の資産		
投資有価証券	13,441	14,152
繰延税金資産	120	161
その他	348	412
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,908	14,724
固定資産合計	30,832	31,479
繰延資産		
社債発行費	46	42
繰延資産合計	46	42
資産合計	54,601	54,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,994	4,360
短期借入金	6,556	6,587
リース債務	350	321
未払法人税等	253	223
賞与引当金	487	524
役員賞与引当金	33	—
製品保証引当金	41	34
その他	1,930	2,184
流動負債合計	14,648	14,235
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	7,241	6,961
リース債務	413	430
繰延税金負債	1,788	1,990
退職給付に係る負債	3,145	3,027
その他	152	188
固定負債合計	17,241	17,098
負債合計	31,889	31,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	8,653	9,009
自己株式	△18	△18
株主資本合計	13,422	13,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,791	5,198
為替換算調整勘定	51	△110
退職給付に係る調整累計額	△72	△65
その他の包括利益累計額合計	4,770	5,022
少数株主持分	4,518	4,571
純資産合計	22,711	23,372
負債純資産合計	54,601	54,706

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,977	21,656
売上原価	16,524	17,118
売上総利益	4,453	4,537
販売費及び一般管理費	3,246	3,490
営業利益	1,207	1,047
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	126	130
為替差益	142	42
持分法による投資利益	122	105
その他	109	45
営業外収益合計	522	345
営業外費用		
支払利息	188	152
その他	39	34
営業外費用合計	227	187
経常利益	1,501	1,205
特別利益		
固定資産売却益	8	76
特別利益合計	8	76
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	1	22
リース資産除却損	7	—
特別損失合計	9	24
税金等調整前四半期純利益	1,500	1,257
法人税、住民税及び事業税	212	261
法人税等調整額	228	△25
法人税等合計	440	235
少数株主損益調整前四半期純利益	1,059	1,021
少数株主利益	195	239
四半期純利益	863	782



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,059	1,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340	397
為替換算調整勘定	750	△222
退職給付に係る調整額	-	7
持分法適用会社に対する持分相当額	4	11
その他の包括利益合計	1,096	193
四半期包括利益	2,155	1,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,761	1,035
少数株主に係る四半期包括利益	394	179

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,500	1,257
減価償却費	1,077	1,020
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△170	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△339
受取利息及び受取配当金	△146	△152
持分法による投資損益 (△は益)	△122	△105
支払利息	188	152
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8	△76
売上債権の増減額 (△は増加)	△104	△492
たな卸資産の増減額 (△は増加)	251	△191
仕入債務の増減額 (△は減少)	200	△653
その他	△136	239
小計	2,528	658
利息及び配当金の受取額	160	166
利息の支払額	△191	△154
法人税等の還付額	0	0
法人税等の支払額	△127	△273
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,370	397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	550
有形固定資産の取得による支出	△911	△1,016
有形固定資産の売却による収入	8	96
投資有価証券の取得による支出	△20	—
その他	12	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△910	△427
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△434	218
長期借入れによる収入	2,154	204
長期借入金の返済による支出	△1,626	△656
セール・アンド・リースバックによる収入	130	95
配当金の支払額	△138	△282
少数株主への配当金の支払額	△85	△127
その他	△196	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197	△735
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	△125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,362	△891
現金及び現金同等物の期首残高	2,732	4,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,095	3,197

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,389	5,106	1,241	1,652	588	20,977	—	20,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,243	227	—	—	3	2,475	(2,475)	—
計	14,633	5,334	1,241	1,652	592	23,453	(2,475)	20,977
セグメント利益	969	227	46	0	14	1,258	(51)	1,207

(注) 1. セグメント利益の調整額△51百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,241	5,771	1,248	1,664	731	21,656	—	21,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,618	240	—	—	6	2,864	(2,864)	—
計	14,859	6,011	1,248	1,664	737	24,520	(2,864)	21,656
セグメント利益又は損 失(△)	767	361	△35	20	35	1,149	(101)	1,047

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△101百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。